



ふたたび、はじまる。
再会、只見線



2022年11月1日
JR東日本 東北本部

キハ110系車両におけるキハ40系カラーの復刻について

2011年7月、新潟・福島豪雨により甚大な被害を受けた只見線会津川口駅～只見駅間の復旧工事が完了し、2022年10月1日より只見線は全線で運転を再開いたしました。そこで、只見線全線運転再開を記念して、只見線で運用されていたキハ40系カラーをキハ110系で復刻させます。これは、10月1日よりすでに運行を開始している、キハE120形旧国鉄カラー車両ラッピングに続く塗色復刻の第2弾になります。ぜひこの機会に只見線をご利用いただき、復刻カラーの車両をお楽しみください。

1. キハ110系気動車 キハ40系カラー復刻の概要

- ・対象車両：キハ110-223号機（1両）
- ・運用開始時期：2022年11月
- ・内容：長年にわたって四季折々の只見線を駆け抜けてきたキハ40系のカラーリングをキハ110系車両ベースに再現・復刻いたします。



塗装デザインイメージ



キハ40系気動車

2. 只見線の使用車両変遷

2011年7月当時に通勤・通学、観光に來られたお客さまの足として、只見線で運用されていたキハ40系は只見線の全線再開を待たずして役目を終えることとなりました。只見線全線再開後、現在の運用はキハE120形、キハ110系が担っています。